

RIの新たな戦略計画

(2019.7～2024.6までの優先事項)

1、優先事項「より大きなインパクトをもたらす」

ロータリーは、人びとの生活をより良くするための変化をもたらそうと努力しています。ロータリー会員は、幅広い奉仕活動でボランティアとなり、資金的なリソースを捧げていますが、今後は活動の結果と成果をより効果的に図っていくこととなります。ロータリーは、入会者、協力団体、寄付者にとって魅力ある団体であり続けるために、プログラムに力を注ぎ、持続的な成果を実証していきます。

《目的》

- ポリオを撲滅し、残された資産を活用する。
- ロータリーのプログラム及びロータリーが提供する体験に焦点を当てる。
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める。

2、優先事項「参加者の基盤を広げる」

人びとは、世界に変化をもたらし、人間関係を築く方法を求めています。私たちは、人びとが求めていることをロータリーで見つけられるよう、どのように手助けできるでしょうか。その答えは、より多くの人や組織が参加できる独特な機会を創り出すことです。クラブは、これからもずっと大切です。その一方で、全世界に会員基盤を広げるために、より多くの参加者をロータリーに迎え入れる画期的なモデルを使って現在の構造を拡大し、一体となって行動できる意義ある方法を提供していきます。

《目的》

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する。
- ロータリーへの新しい経路を創り出す。
- ロータリーの開放性とアピール力を高める。
- 活動成果とブランドに対する認知を築く。

3、優先事項「参加者の積極的なかわりを促す」

めまぐるしく変わる現在の世界にクラブが直面している課題を認識しているロータリーは、会員が参加と維持を促すような経験をクラブが提供できるよう支援します。会員に経験と価値を提供できるようクラブを支援することで、ともに奉仕し、人間関係を広げ、より満足のいく経験をロータリーで得られる機会を、ロータリアンや他の参加者に提供することができます。

《目的》

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する。
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する。
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する。
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する。

4、優先事項「適応力を高める」

ビジョンを達成し、変わりゆく世界的な傾向に追いつくため、構造と文化を進化させていかなければなりません。私たちは、すべての参加者を効率よく、柔軟で、効果的に支援できるような運営とガバナンスの構造を築きます。

《目的》

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する。
- 意思決定におけるより多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す。

2019年～20年度年次目標

○優先事項1の目標「人びとが手を取り合うのを促す」

- ① クラブや地区内のリーダーの積極的参加を促すプロセスを強化する
- ② 既存会員を維持しつつ、さらに入会を促進することで、クラブ会員の増加を図る
- ③ 新しいクラブを結成する。
- ④ 女性会員や40歳未満の会員の入会、またローターアクターのロータリークラブへの入会を促し、会員増加を図る。
- ⑤ インターアクト、ローターアクト、ロータリークラブ会員間およびほかのロータリー活動の参加者間の積極的参加・協力を強化する。

○優先事項2の目標「行動する」

- ⑥ ポリオ撲滅においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える。
- ⑦ 地区財団活動資金(DDF)を十分に活用することで、地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの資金として、地域社会および海外でのプロジェクトを増やす。
- ⑧ 年次基金とポリオプラスへの寄付を増やし、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルまで成長させる。
- ⑨ ロータリーへの認識を高め「世界を変える行動人」キャンペーンを推進。

■地区の方針■

第2600地区標語

Spread The Charm of Rotary

(ロータリーの魅力を広げよう)

ガバナーの思い

ロータリーは素晴らしい団体です。

ロータリーは素晴らしい人たちの集まりです。

その素晴らしさを日々感じられるようになりましょう。

世界のロータリーが何を目的に活動しているのか。

日本のロータリーが何の奉仕活動をしているのか。

第2600地区の仲間はどんな人たちなのか。

各クラブがどのような活動をしているのか。

まずは知ることから始めましょう。

自分自身と自分のクラブをレベルアップするために、ロータリアン同士が知り合いになり、自己的人脈を広げましょう。そして他のクラブの活動を知ることにより自分のクラブをレベルアップしていきましょう。

第2600地区には54クラブに1900人以上のロータリアンがいます。県下全域に同業者や異業種の方々が活躍しています。皆さんは共通のロータリーバッジで話ができる「仲間」です。

ロータリーは、自分の人生を豊かにしてくれる「スパイス」です。

第2600地区 活動方針

本年度のRI会長テーマ「ロータリーは世界をつなぐ」とRI年次目標に沿い、当地区の活動計画を定め、ガバナーを中心に、各クラブとガバナー補佐・各地区委員会が連携して「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界」を目指して活動していきます。

第2600地区 活動計画

(1) 研修を通じてロータリーを知る。

- ・新会員研修の実施
クラブ内での研修
グループ内での研修(IMを利用する)
- ・既存会員の研修
- ・RLIでの研修

(2) 人脈を広げて自分の人生を豊かにする。

- ・クラブ内での交流
- ・グループ内での交流
- ・RLIに参加しての交流
- ・地区委員としての交流
- ・研修会での交流
- ・地区大会での交流

(3) 奉仕活動の実施。

- ・クラブの戦略計画を練る。
(直前・現・次期)会長幹事が中心
- ・財団補助金事業の実施
会長エレクトの仕事
- ・ロータリー賞を目指すなど明確なクラブの目標を設定する。

(4) ロータリー・ファミリーの拡大

- ・ローターアクトへの理解と協力
- ・インターアクトへの理解と協力
- ・ライラを理解し協力する。
- ・家族や会社を巻き込む
- ・若者への柔軟な対応

第2600地区 活動目標

① 研修の実施

- ・入会3年未満の会員への研修
(クラブ、グループでの実施)
- ・地区セミナーへの参加
(新会員へ参加を促す)

② 会員の増強と会員維持

- ・第2600地区目標 2000名堅持
- ・各グループ純増10名
- ・女性会員、40歳以下の会員を増やす

③ 公共イメージを向上させるための活動

- ・ロータリーデーを実施する
- ・積極的にマスコミにアピールする

④ 青少年への理解と協力

- ・青少年活動はロータリー活動の柱
- ・青少年交換・IA・RA・ライラへの協力

- ・各クラブで新たな活動を創設

⑤ ロータリー財団への寄付

- ・年次基金への寄付 1人150ドル
- ・ポリオへの寄付 1人30ドル
- ・R平和センターへ 1人500円
- ・恒久基金への寄付 1人1,000ドル

⑥ 米山記念奨学会への寄付

- ・普通寄付金 3,000円と特別寄付を合わせて金20,000円以上を目指す

⑦ マイ・ロータリーへの登録

- ・登録は新会員獲得への手段と理解
- ・各クラブ50%を目指す

⑧ クラブ・セントラルの活用

- ・地区内のクラブ状況を理解
- ・自分のクラブを客観的に知る